

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月29日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年7月1日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) The University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年9月～2023年6月
留学先大学で在籍した学年	3～4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):社会学部 (現地言語での名称):Department of Sociological Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月下旬～1月下旬 2学期:2月初旬～6月初旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	30129人
創立年	1879年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (GBP)	日本円	備考
授業料		円	大学間協定留学のため、なし
宿舍費		約 900,000 円	
食費		約 300,000 円	
図書費	£0	0 円	全てオンライン上で閲覧可能
学用品費	£0	0 円	現地で調達したものはない
携帯・インターネット費	£100	約 18370 円	SIM カード代(月に一度自動更新)
現地交通費	£0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£1091	200,000 円	
被服費	£109	20,000 円	
医療費	£0	0 円	保険に入っていたため 0 円
保険費	£586	107,415 円	形態:海外旅行保険(明大サポート)
渡航旅費	£1917.66	約 352,289 円	
ビザ申請費	£498	91,279 円	ビザ申請費+NHS(健康保険)
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,989,353 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:ガトウィック空港 経由地:関西国際空港、ドバイ国際空港	
復路 出発地:マンチェスター空港 目的地:羽田空港 経由地:カタール	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JAL・エミレーツ航空 料金: 復路 航空会社:カタール航空 料金:189706 ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:航空会社のサイト)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(エアトリ)	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Broad Lane Court) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先の大学から寮に関する案内があり、いくつかの選択肢の中から探しました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は Broad Lane Court というところに住んでいました。大学から徒歩 5 分で、City Centre にも近く、とても便利でした。予算の問題等あるとは思いますが、寮はできれば大学に近い場所が良いと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:ジャパングリーンメディカルセンター)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

渡航前にインターネットで現地の治安について調べました。Sheffield はイギリスの中で最も安全な街の一つです。警察の電話番号を覚えたり、深夜の外出は避けたりしていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地でのインターネット接続は全く問題ありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設し、アプリを使って送金していました。現金はほぼ使わず、クレジットカードを使用していました。大きい額のお金を使うときのみ、デビットカードを使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

炊飯器がないので、お米を食べたい方は電子レンジでお米を炊けるものを持っていくと良いと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 留学生は履修できない授業があった。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Whiteness, Power and Privilege	白人性、権力と特権
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(講義)とセミナー(ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が2回
担当教授	
授業内容	白人性とは何か、また、社会の中で白人性がどのように機能しているかということについて学ぶ
試験・課題など	学期末のみ:自分で選んだトピックについてエッセイを書く(3500字)
感想を自由記入	受けた授業の中で一番面白い授業でした。授業はレクチャーとセミナー(ディスカッション)に分かれているのですが、様々な人種の学生とディスカッションすることで、毎回新たな発見があり、楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Men, Feminism and Gender relations	男性、フェミニズムとジェンダー関係
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(講義)のみ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Briony Hannell
授業内容	ジェンダー理論を基礎から発展まで学ぶ
試験・課題など	中間:自分で選んだトピックについてvlog、もしくはポッドキャストを作成する 期末:作成したvlog、もしくはポッドキャストについての振り返りレポート(1500字)
感想を自由記入	週一回の授業ですが、基礎的な内容から発展までしっかり学ぶことができました。スポーツにおけるジェンダーや男性性なども学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Digital Identities	デジタルアイデンティティ
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(講義)とセミナー(ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回
担当教授	Ysabel Gerrard
授業内容	SNS の特性や構造とユーザーのアイデンティティについて学ぶ
試験・課題など	中間:トピックを一つ選びエッセイを書く(1500 字) 期末: 中間と同じ
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
What it means to be human	人間とは何か
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	春学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(講義&ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Stevienna de Saille (毎回変わります)
授業内容	何がヒトをヒトたらしめるのかについて学ぶ
試験・課題など	中間:トピックを一つ選びエッセイを書く(1500 字) 期末: 中間と同じ
感想を自由記入	授業科目名は分かりづらいですが、倫理学でした。ヒトと AI の関係性、ヒトと犬の関係性等、毎回授業を担当される教授によってトピックが変わるので、幅広く学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sex Work: Rights, Regulation and Resistance		性産業: 権利、規制そして抵抗	
科目設置学部・研究科	Sociological Studies		
履修期間	春学期		
単位数	20 credits		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(講義)とセミナー(ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回		
担当教授	Laura Connelly		
授業内容	性産業とそこで働く人々の権利やフェミニストの主張について学ぶ		
試験・課題など	期末: ケアプラン(2500 字)とポスターの作成		
感想を自由記入	主にイギリスの性産業について学びました。教授はリベラルな方でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Queer Theory and the Media		クィア理論とメディア	
科目設置学部・研究科	Sociological Studies		
履修期間	春学期		
単位数	20 credits		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(講義&ディスカッション)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	基礎的なクィア理論について学ぶ		
試験・課題など	中間: Zine(ミニ雑誌)の作成 期末: 自分で選んだピックについてエッセイを書く(3500 字)		
感想を自由記入	映画、ドラマやアニメ等ポップカルチャーにおけるクィア表象の分析等が面白かったです。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
就職活動はこれから始める予定で、現時点では航空業界を希望しています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は、留学前は四年間で卒業する予定だったので、留学前の大学三年生の夏から就職活動を始め、インターンシップにも参加していました。しかし、留学先での就職活動は難しく(時間がありませんでした)、留学後に就職活動のため休学することになりました。しかし、留学前から就職活動を始めたことで、興味のある・ない業界が明確にすることができました。また、留学経験を通じて価値観が変わり、現在は留学前とは全く異なる業界への就職活動を希望しています。これから留学される方には、できれば早くから就職活動を意識されることをおすすめします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	IELTS の勉強
	4月～7月	IELTS の勉強
	8月～9月	IELTS の勉強
	10月～12月	IELTS の勉強
留学開始年	1月～3月	IELTS 取得
	4月～7月	必要書類提出(Web)、滞在先の確保
	8月～9月	ビザ申請・取得、渡航、予防接種(現地)
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、中間試験
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

これから留学を志す方にアドバイスしたいことは二つあります。一つ目は、失敗を恐れずにチャレンジすることです。留學中は様々な困難にぶつかると思います。私も何度も困難にぶつかりました。しかし、留学を終えて思うことは、失敗から学ぶことの方が多かったということです。失敗しても、「やっちゃったー、まあいつか」くらいの気持ちで、恐れずに、積極的に新しいことにチャレンジしてください。二つ目はとにかく楽しむことです。せっかくの留學生活をできる限り楽しんでください。皆さんの留學が実り多いものになることを祈っています。